

令和3年  
伊豆市議会6月定例会

一 般 質 問

令和3年6月

令和3年伊豆市議会6月定例会一般質問者と質問事項

6月2日(水)午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	13. 青木 靖	1. オリパラ開催時のコロナ対応	市 長 教育長	1
		2. 新過疎法のもとでの事業の可能性	市 長	
		3. 清掃センターの利用の現状と課題	市 長	2
2	1. 小川多美子	1. 自治会による買い物ツアーについて	市 長	3
		2. 「ヤングケアラー」について	市 長 教育長	4
3	8. 星谷 和馬	1. 虹の郷について	市 長	5
		2. 修善寺老人憩いの家入浴施設の休館について	市 長	
4	10. 間野みどり	1. 不妊・不育症治療費助成の今の現状について	市 長	6
		2. 都市計画見直しと今の現状について	市 長	7
5	14. 三田 忠男	1. 新型コロナワクチン接種体制の現状と課題	市 長	9
		2. 伊豆市の公共施設の高齢者対応、障害者対応について	市 長	
		3. 中伊豆地区の再開発計画の検討状況と、地区住民への意見聴取について	市 長 教育長	10
		4. 自然エネルギーの活用と環境への調和策について	市 長	

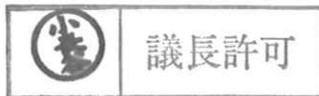
## 6月3日（木）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
6	11. 波多野靖明	1. 伊豆地域への修学旅行の誘致について	市 長	11
		2. 原付のご当地ナンバーについて	市 長	
		3. 地域交通お買い物ツアーについて	市 長	12
7	16. 杉山 誠	1. 新しい働き方「協同労働」の取り組みについて	市 長	13
		2. 自然災害から住民を守る避難体制の強化について	市 長 教育長	14
		3. 医療的ケア児、重症心身障害児をもつ家庭への支援	市 長	
8	2. 浅田 藤二	1. 伊豆縦貫道について	市 長	15
		2. 文学の郷づくりについて	市 長 教育長	16





件名	内容	答弁を 求める者
<p>3. 清掃センターの 利用の現状と課題</p>	<p>あり、伊豆市総合計画後期基本計画にも影響があることから、制度の内容と今後の計画策定、県との協議について、今、確認する必要があると考えます。</p> <p>①新過疎法の内容と今回の全域指定の意義を確認します。 実施事業の条件、事業の規模についても確認します。</p> <p>②新法の目的に照らして、「過疎対策に必要な事業」で、伊豆市で行うことが出来る事業は、どのようなものが想定されますか。総合計画にどの程度影響しますか。</p> <p>③今後のスケジュールについては、5月末までに原案確認、6月～7月県との事前協議、9月議会に上程見込み、とのことですが、令和7年度までの事業をここで全て計画するのですか。計画策定と事業実施の関連性を確認します。</p> <p>伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設の建設が進み、令和4年後半に試運転開始、令和5年当初の本稼働の見込みとなりました。現在の伊豆市清掃センターの場所は、リサイクルセンターとして引き続き使用する予定ですが、清掃センターの利用の状況と立地の課題について確認します。</p> <p>①いわゆる一般回収によらない、ごみの直接持ち込みの量が増加している、もしくは減らない傾向にあると感じますが、実態を把握していますか。又、その現象をどう捉えていますか。燃やせるごみ、資源ごみ、それぞれについて伺います。</p> <p>②資源ごみの搬入が今後も減少しないとして、県道伊東修善寺線から現在の清掃センターへの入口は、変則五差路になっていて、交通事故の危険性があると感じます。清掃センターへの進入路について現状の認識はいかがですか。又、対応を検討しませんか。</p>	<p>市長</p>



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3 年 5 月 19 日

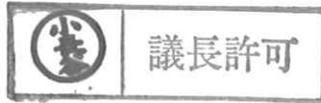
伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 小川多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.自治会による買い物ツアーについて	<p>修善寺ニュータウンでは、自治会による買い物ツアーを始めました。自治会加入世帯の多くが高齢者で、車の運転ができなかったり運転免許証を返納した人も多く、また路線バスの運行本数も少なく住民の方達は不便を感じていました。数年前より何度かの話し合いを重ね昨年 12 月から 3 回の実証実験を行い本格的な運行が始まりました。行き先は大規模スーパーマーケットと、ホームセンターです。</p> <p>伊豆中央ケアセンターから車の提供を受け、ドライバーはボランティアの協力により実現できることになりました。毎月第二木曜日と、第四水曜日の月 2 回の運行です。</p> <p>利用した人は「ありがたい」「助かる」「重い荷物があると家の近くまで送ってもらえてうれしい」と、喜んでいました。</p> <p>コロナ禍ではありますが、一人暮らしで家の中に籠ってしまいがちの高齢者が月 2 回の買い物ツアーを楽しみにしていることは、外部とのつながりができとても良いことです。また、家族に頼むことができる方もいるかと思いますが、自分の目を見て、手に取って買い物ができるということは精神面でもとても良いことのように思います。自治会やサロンの役員さんの協力の下多くの人たちが利用してくれたらと思います。</p> <p>市内では各地域への路線バスの本数も少なく、交通弱者</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2.「ヤングケアラー」 について	<p>と言われる多くの方達が不便を感じています。</p> <p>このような状況の中、市では</p> <p>① <u>今回の修善寺ニュータウンの取り組みについて、どのような考えをお持ちなのかお聞かせください。</u></p> <p>② <u>これから他地区で同様の希望があった場合、市としてどのような対処をしていただけるかを伺います。</u></p> <p>病気や障害のある家族の世話をする 18 歳未満の子ども「ヤングケアラー」について新聞記事や、テレビでよく見かけるようになりました。全国調査によると高校生で 24 人に一人、中学生では 17 人に一人、クラスに 2 人程度いるそうです。誰に頼ることもなく、SOS を発することもせず家事を担う子どもは、学校で先生や友達に相談することもなく、何事もないかのように装っているとのことです。家庭の事情を知られたくないからと、自ら SOS をださず、結果として支援につながらないケースが多いようですが、何気ない仕草や些細な変化から隠された本音に気付くこともあるそうです。</p> <p>厚生労働省と文部科学省による中高生を対象にした調査では、学業や進路のサポートに加え【自分の今の状況について話を聞いてほしい】との答えも目立ったとのことです。</p> <p>困っている子どもを見つけるのは困難だと言われていますが「大丈夫、大丈夫」という言葉に惑わされず、外からは見えにくい「ヤングケアラー」を見つけ出し悩みに気づいて支援につなげてほしいと思います。</p> <p>そこで次のことを伺います。</p> <p>① <u>現在の伊豆市では「ヤングケアラー」と言われる子ども達は見受けられますか。</u></p> <p>② <u>その様な子どもがいた場合どのような対処をしていますか。</u></p>	市長 教育長



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 5月24日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 星谷和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他( )		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
虹の郷について	<p>総面積50haの広大な面積を有し、ハード面でも大変恵まれています。「SLとフラワー公園」伊豆市最大の観光施設です。近年は社会ニーズの変化に対応出来ず来園者は大幅に減少しています。コロナワクチンの接種が進めば経済が復活し入園者の増加も期待出来ます。</p> <p>基本であるコンセプトを忠実に実行し、お客様に喜ばれる施設に再構築すべきです。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>(1) <u>来園者を増やすための課題</u></p> <p>(2) <u>本年度、指定管理業者の更新ですが、その予定は</u></p> <p>(3) <u>将来どの様な虹の郷にするのか</u></p>	市長
修善寺老人憩いの家入浴施設の休館について	<p>修善寺老人憩いの家入浴施設は、当初廃止の方針で進めて行きたいとの説明が有りましたが、利用者からの継続を望む声が多々有り、その結果廃止ではなく、今年度4月から休館状態となっています。</p> <p>3月議会の一般質問の際に「4月以降は利用者との対話を続けながら入浴施設の継続について判断していきます」とのことでしたが、以下について質問します</p> <p>(1) <u>4月以降の利用者との対話の状況</u></p> <p>(2) <u>今後の方向性</u></p>	市長



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 5月 24日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 間野みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		( <u>一般質問</u> )・質疑・反対討論・賛成討論・その他( )
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内容	
1. 不妊・不育症治療費助成の今の現状について	<p>2017年6月1日の議会の一般質問で、不妊治療の助成金について一般質問をいたしました。その時は議員として日が浅く、国や県の助成金の確認に留まったように記憶しています。</p> <p>その後、不妊治療について国や県共に変化がありました。</p> <p>2020年までの初回のみ30万円、2回目以降は15万円だったのが、21年1月から2回目以降も30万円に倍増しました。助成回数も子どもごとにリセットし、より使いやすい仕組みになったと聞きます。</p> <p>また、2022年からは公的医療保険の適用も始まります。</p> <p>2020年まで助成を受ける夫婦の合計所得は730万円未満という制限があったが、21年からそれを撤廃し、事実婚も対象になるということです。</p> <p>そのようなことを踏まえ、質問します。</p> <p>①この改正により利用者としてどのような点が大きく変わりましたか。メリット・デメリットはありますか。</p> <p>②市としてはどんな関わりや相談に応じてくれますか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 都市計画見直しと今の現状について	<p>③2021年2月号「広報いず」でもサポートについてページを割いています。伊豆市の子育てガイドブック 2020「育てて育つ」にも明記され、市民に分かりやすく工夫していると思いますが、その意図はありますか。</p> <p>④不妊症・不育症は心に大変な負担がかかりますが、その点はどのように考えていますか。</p> <p>2020年3月の定例会の資料の行政報告で都市計画の見直しについて話されています。</p> <p>都市計画マスタープランの改定作業を進めていること、有識者の国・県職員に参加いただき、土地利用や基盤整備、景観や環境保全などを総合的に考え、子どもから高齢者まで住みやすい町づくりの骨格となる基本計画をしていることにその意気込みを感じられます。</p> <p>町づくりに関する法令は素人にはわかりにくい部分が多く、それゆえ漠然とした不安な声も市民から聞かれます。</p> <p>そんな疑問や不安な点を質問します。</p> <p>私の住んでいる修善寺温泉は寺の門前町として発展してまいりました。狭い路地に面して住宅が立ち並び、昔ながらの門前町らしい町並みを形成しております。</p> <p>しかし、その住み慣れた町並みも現在の建築基準法には合わない部分があり、住宅の建て替え時に問題が多いとの声が聞かれます。</p> <p>この問題は、旧修善寺町の温泉場の問題だけではなく、海岸線に接した旧土肥町や、狭い農道に接して住宅が建築された旧中伊豆町にも見受けられるようです。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>①住宅建て替えに関し、問題となる狭い道路に接して建築された住宅の現状把握はされていますか。</p> <p>(最近では、修善寺や土肥で空き家となった古民家を、若い世代のニーズに合った飲食店や物販店に改修し、商売を始める事例が増えています。)</p> <p>②路地を生かし門前町の風情を保った住宅の建て替えが可能でしょうか。また新しい都市計画による町づくり、伊豆市ならではの地域住民と行政が協力して問題解決できる手法はあるでしょうか。この問題を解決できれば古い街並みの再生がより可能となり、人口流失に歯止めをかけ、アフターコロナを見据えた『伊豆市方式』の町づくりで、観光及び市民や内外の若者のビジネスチャンスが広がると思いますがいかがですか。</p>	



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 5月19日

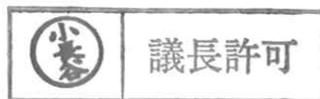
伊豆市議会議長 小長谷順二様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 新型コロナワクチン接種体制の現状と課題	<p>昨年の12月定例会、3月定例会の一般質問後の進捗状況の確認と3月定例会の市長施政方針の、課題の整理を中心に質問致します。</p> <p>電話は通じず、ネットを通じて、ようやく予約が取れ、接種現場で、待つこと無く接種できました。医療従事者・行政等関係各位に今までのご尽力に感謝申し上げます。</p> <p>今後、さらに伊豆市民の安心安全が確保される接種体制について以下質問致します。</p> <p>(1) <u>高齢者の方々から、電話が繋がらない、予約が取れない、電話代がかかる等ご意見を多数いただきました。</u></p> <p>(2) <u>原因とそれに対する対応、今後の取り組みについて各医療機関での個別接種計画が今後展開される予定はあるか伺います。</u></p> <p>(3) <u>集団接種になじまない個別に配慮を要する市民への接種体制の検討状況を伺います。</u></p>	市長
2. 伊豆市の公共施設の高齢者対応、障害者対応について	<p>高齢社会、共生社会等環境変化について、ハード面ソフト面からも環境に適応した改善が望まれますが、今までの取り組み経緯や今後の取り組み検討状況を伺います。</p> <p>(1) <u>法律に基づく改善状況：例えば、段差解消や点字ブロック、音声案内信号機設置等の内容や箇所・件数等</u></p> <p>(2) <u>トイレの和式便器から、洋式便器への改修工事等物理的な環境改善状況等の内容や箇所・件数等</u></p>	市長

件名		答弁を 求める者
3. 中伊豆地区の再開発計画の検討状況と、地区住民への意見聴取について	<p>(3) <u>案内標識、パンフレット等多機能化等の内容や箇所・件数等取り組み状況</u></p> <p>中伊豆地区の今後の将来像について過去質問しましたが、その後の検討状況・今後の計画推進、住民意見の聴取状況等新たな項目を含めて伺います。</p> <p>(1) <u>中伊豆温泉病院の建設清水区、ジオパークの西区周辺地区、小川区の、温泉病院の跡地や橋保育園跡地の、住民交流センターの温泉施設の活用、巨峰の発祥地の教育・観光資源化等白岩地区のまちづくり</u></p> <p>(2) <u>中学校再編後の、中伊豆地区のこども園・小学校の在り方、六仙の里、大見城跡地等八幡区を中心とした中地区の再開発等のまちづくり</u></p> <p>(3) <u>萬城の滝周辺開発、わさびの郷構想、八岳小学校の跡地活用、矢熊筏場線改修工事後の公共交通機関の再編等の八岳地区のまちづくり</u></p> <p>(4) <u>冷川地区の、有料道路代軽減を含めた伊豆スカイライン活用、県道の拡幅工事等まちづくり</u></p> <p>(5) <u>地区要望の通学バス確保や通学路の安全策、中学校再編後の通学方法、特別に配慮を要する特別支援学校等の通学確保策、公共交通機関のあり方等検討状況</u></p>	市長・教育長
4. 自然エネルギーの活用と環境への調和策について	<p>自然エネルギーの活用は、極めて大切な国策であると認識し、自然との調和を含めた住民との理解促進が重要であると考えます。以下の点について伺います。</p> <p>(1) <u>伊豆スカイラインゴルフ場太陽光発電事業の進捗現状と今後の事業展開と伊豆市の行政手続きについて</u></p> <p>(2) <u>自然エネルギー発電開設申請件数等の現状と伊豆市民の総合相談窓口設置の検討状況</u></p> <p>(3) <u>地域住民からの苦情や相談に対して、行政業務上どのような対応が可能か伺います。</u></p>	市長



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和3年 5月 24日

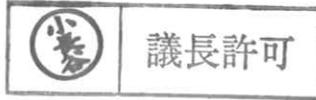
伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 伊豆地域への修学旅行の誘致について	<p>新型コロナウイルスへのワクチン接種が始まったものの、新たに変異株も国内で蔓延しており、さらに、世界に目を向けましても、未だ収束に向かっていとは言えない状況でございます。そんな中で、近年では、中学・高校とも、海外を修学旅行先に指定していた学校が多くございます。昨年は修学旅行の中止という判断の学校もありましたが、やはり、修学旅行というものは、学校生活の中で、生徒にとっては大きな楽しみのある行事の一つだと考えます。現在は、県をまたぐ移動も自粛という時期ではございますが、国内の中学、高校の修学旅行を、ジオや歴史の詰まった伊豆半島へ誘致する事は有効だと思いますが、市長はいかがお考えでしょうか。</p>	市長
2. 原付のご当地ナンバーについて	<p>現在、自動車については、「伊豆」ナンバーがございませす。「伊豆」という地名を更にブランド化するためにも、また、観光や仕事に訪れた方々にも、「伊豆」という統一された表示を見てもらうことで、小さなことですが、伊豆を認識してもらえ「目にするもの」の景観整備の一つとして、原付のナンバーもご当地「伊豆」を使用するというのはいかがお考えでしょうか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>3. 地域交通 お買い物ツアーについて</p>	<p>伊豆市では、これまで天城湯ヶ島地区、中伊豆地区での乗り合い型タクシー実証実験が行われてきました。高齢化する地域の課題として、私も近い将来には十分必要性はあると考えます。伊豆市で行った実証実験の際の高齢者の利用者数、また利用した方へのアンケート調査をしていると思われませんが、どのような結果であったかお伺いすると共に、修善寺ニュータウン自治会で数年前から「地域交通・サロン検討委員会」のメンバーが中心となり、高齢化が顕著で移動手段も限られるお年寄りの手助けになればと、数度の実証実験をし、現在は実際の運営も始まりました。</p> <p>同じ伊豆市内でも、駅に近いとか、商店街に近い、大型の商業施設に近い、遠いなど、それぞれの地域により、全く環境は変わると思います。</p> <p>今後の地域交通、特に乗り合い型タクシーや、お買い物ツアーのような事業の取組みをどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>市長</p>



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 5月 21日

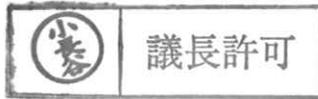
伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( )		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.新しい働き方「協同労働」の取り組みについて	<p>働く人が自ら出資し、経営にも携わる「協同労働」という新しい働き方を促す労働者協同組合法が昨年12月に成立した。</p> <p>一般的な会社員は、企業の方針に基づいて働き、経営に関与できない。出資者は株主で、株主の発言権も持ち株数による。</p> <p>一方、協同労働の労働者協同組合は、働く人が出資し、金額の多寡によらず、方針決定に際し一人一票の平等な発言権がある。また剰余金は、出資額ではなく事業に従事した程度に応じて配当する。 営利目的の事業は行ってはならないが、労働者派遣事業以外は基本的に制限がない。福祉関係や生活支援、農業など、人口減少が進む地域社会の様々な課題に取り組む役割が期待されている。</p> <p>広島市では高齢者の新しい働き方として、2014年に60歳以上の市民を中心とした事業の立ち上げを支援する「協同労働プラットフォーム」モデル事業を開始した。コーディネーターが起業から運営までサポートし、立ち上げ経費も100万円を上限に半額補助するなどして、現在19団体が活躍しているとのこと。</p> <p>田畑の草刈りや果樹の植え付け、家庭で作りすぎた農作物の販売を行う“小さな産直市”の運営など、農業の困りごとから住民の居場所づくり、荒れた山林の手入れなど、働く人が主役となって活動している。</p> <p>当市では若者世代の減少や耕作放棄地の増加など、共通する課題が多くある。<u>「協同労働」の仕組みを活用して、地域住民による地域の活性化を後押ししてはいかがか。</u></p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
2. 自然災害から住民を守る避難体制の強化について	<p>東海地方の梅雨入りが平年より 21 日早く、統計史上 2 番目の速さとなった。</p> <p>近年頻発化する豪雨災害や台風の大規模化、地震災害に備え、住民の命と健康を守る避難体制の強化が一層強く求められている。</p> <p>以下、具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>① 指定避難所における非常用電源の確保</p> <p>② 発災の混乱時に、だれが来ても避難所の開設をスムーズに行えるよう、初動に必要なものを一つのボックスにまとめた「避難所開設ボックス (キット)」の配備について</p> <p>③ 避難所となる学校施設に到着した地域住民の円滑な誘導や学校施設の効果的な活用のため、災害時に校舎、屋内運動場、校庭等をどのように利用するかを定めた「学校施設利用計画」の策定状況</p> <p>④ 聴覚障がい者等が素早く避難することができ、避難所での混乱回避に有効な「防災ピクトグラム」や絵カードの準備状況</p> <p>⑤ 女性のプライバシーに配慮した避難所運営と生理用品の災害備蓄</p> <p>⑥ 災害時に自力での避難が難しい高齢者や障がい者等「避難行動要支援者」の「避難個別計画」作成状況</p> <p>⑦ ふじのくにジュニア防災士育成の取り組み</p> <p>⑧ 防災広報の充実に向けたコミュニティーFMの活用</p>	市長 教育長
3. 医療的ケア児、重症心身障害児をもつ家庭への支援	<p>近年、医療の高度化に伴い、新生児の死亡率は大きく減少した一方で、気管切開や経管栄養などの医療的ケアを永続的に必要とする子ども（医療的ケア児）や重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複している子ども（重症心身障害児）たちが年々増えてきている。</p> <p>こうした子どもを育てる家庭では、特に母親にとって、就労はおろか満足な休息も得られないことや、保護者の高齢化や病気などで、子の面倒を見れなくなった場合など、不安は尽きないとの切実な声が聞かれる。</p> <p>静岡県では、障害福祉サービスが身近で受けられない、施設まで通うのが困難な場合など、様々な課題を解決するため「ふじのくに型福祉サービス」を推進しているが、当市における「共生型福祉施設」の取り組みはいかがか。</p>	市長



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 5月19日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		
○一般質問		・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( )
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 伊豆縦貫道について	<p>私は、20年以上、指導するスポーツチームの大会参加のため日本各地を選手を乗せて車で移動してきました。</p> <p>九州や山陰、山陽、四国や岐阜の山あいの地域まで、たいへん素晴らしい高速道路や高規格道路が整備されていたのが印象に残っています。伊豆での開通を心待ちにしていたところ、今般、関係者のたいへんなご努力により伊豆縦貫道の整備が進み、延長される整備予定地域への説明会も行われました。</p> <p>道路開通により、住民の移動の便利さに加え企業誘致や観光交流人口、移住希望者の増加など、大きな経済効果が期待されています。</p> <p>地元地域としては、道路整備により通過される町ではなく、インターを降りて立ち寄りなければならぬ場所として、道路完成までに地域住民・各種団体が一丸となり、あらゆる人々の目的地になるように地域の魅力を高めていくことが重要だと考えています。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>(1) <u>伊豆縦貫道整備、開通により描かれる伊豆市、伊豆半島の未来像についてお答えください。</u></p> <p>(2) <u>道路整備にかかわる地域の魅力を高めるための、構想や取り組み、すでに着手しているものがありましたらお答えください。</u></p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2 文学の郷づくりについて	<p>伊豆市のキャラクター伊豆の四姉妹をご存知でしょうか。伊豆市のパンフレットなどによく登場しています。</p> <p>これは、大妻女子大学の学生が伊豆市の特徴を外からの視点でとらえ四つの地域を個性豊かな四姉妹として表現したものです。四つの地域が仲良く手をたずさえ、市民が豊かで幸せな生活をおくる伊豆市をイメージして作られたものだと思います。</p> <p>その一人、伊豆の葵は、本を愛する文学女子として天城湯ヶ島地域を表現してくれています。</p> <p>本年度、観光協会・地域づくり協議会、また行政関係者のご努力により、仮称ですが、文学の郷公園、小説に出てくる『上の家』の整備が予定されています。</p> <p>先ほどの縦貫道の整備に合わせまして、目的地となる地域の魅力を高めるため、文学の郷づくりはかかせません。</p> <p>文学講座なども定期的開催し文学の郷づくりを行っていることに加え、観光協会が中心となり、問題となっていた温泉場の廃屋や景観を損なう支障木の撤去も民間有志主導で進められてきました。すっきりとしたきれいな魅力ある温泉場がよみがえってきました。</p> <p>天城会館周辺の宿地区有志は、弘道寺前の休耕田に蓮や花しょうぶを咲かせ情緒あふれる景観をつくりだしています。西平地区有志は、熊野山に祀られる三十三観音をつなぐ道や看板を整備するとともに、長野川遊歩道の草刈りや歩道整備を続け、蛍の観賞場所や住民の散歩コースとして地域の魅力創出に住民自らが努力しています。</p>	市長・教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>地域づくり協議会では、組織を改編し、SDGs未来部会を創設。持続可能な地域の魅力発信に力を入れているところです。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>(1) <u>天城会館を起点に、井上靖先生が幼少期を過ごした旧邸跡、上の家、仮称文学の郷公園、弘道寺、旧湯ヶ島小学校でもある市民活動センターを結ぶラインを小説に登場するような大正ロマンを感じさせる、本を片手にそぞろ歩きを楽しめるような整備ができれば文学の郷としての魅力がさらにあがり、立ち寄りなければならない場所として内外にアピールできます。</u></p> <p><u>お考えをお聞かせください。</u></p>	